

2020年7月吉日

会員会社代表者各位
品質管理部門担当役員様

株式会社 自動車部品会館
協賛(一社)日本自動車部品工業会 東日本支部

2020年10月15日(木)・16日(金) 「IATF16949 コアツール実践研修」のご案内

平素は当会館の事業につきまして、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、株式会社 自動車部品会館では一般社団法人 日本自動車部品工業会 東日本支部会員企業様における IATF16949 認証取得活動への支援として、IATF16949 を構築、運用するうえで必須のツールである6つのコアツールに関して、運用手法の解説ならびに演習を通じてわかりやすく修得していただくための「IATF16949 コアツール実践研修」を上記日程にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

なお、本来は6つのコアツールを2日間通して習得する研修ですが、より受講しやすいよう、どちらか1日だけの受講も可能とするよう開催形式を変更いたしました。全てのコアツールの受講を希望される方には、2日間連続、または次回以降の開催時に残りの1日を受講できるようにし、参加の選択肢を増やしております。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので別紙受講申込書より、お申込下さいますようお願い申し上げます。

2020年10月15日(木)・16日(金)
IATF16949 コアツール実践研修のご案内

I. 講師：あどばる経営研究所/中小企業診断士 Office 所長
ISO9001&ISO14001 審査員
中小企業診断士
認定 SOX アドバイザー/上級内部統制管理士
草野喜義氏

II. 日程：2020年10月15日(木)・16日(金)
(両日とも午前9時30分～午後5時30分まで)
・10月15日(木) (APQP+CP+PPAP) コース
・10月16日(金) (FMEA+SPC+MSA) コース

III. 開催場所：自動車部品会館 601会議室 (6階)
東京都港区高輪 1-16-15 電話 03-5422-6351

IV. 受講料：(税込/テキスト代・昼食代含む)

一般【2日間】66,000円

【1日のみ】34,100円

JAPIA 会員会社【2日間】44,000円

【1日のみ】23,100円

JAPIA 東日本支部会員中小企業優待価格

【2日間】34,100円

【1日のみ】17,600円

◎ 申込要領

①受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名及び氏名を明記して、
10月9日(金)(必着)までにFAX又はメール及び弊社ホームページよりお申込下さい。折り返し申込受付票をお送りいたします。万一、申込み後に参加を取り消す場合は必ず下記までご連絡下さいますようお願い致します。

②受講料の請求書を郵送致しますので、銀行振込にて10月9日(金)までにお支払いください。(振込手数料は貴社でご負担頂きますようお願い致します)

③受講希望者が募集人数(20名)になり次第締め切らせていただきます。

★参加お申込み後のキャンセルは10月9日(金)までといたします。以降のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか後日テキストを郵送させてい

ただきます。

★受講希望者が少数の場合は、中止となることがありますのであらかじめご了承ください。

★ノート PC 及び電卓（関数計算できるもの）を必ずご持参下さい。

◎ 申込先および問い合わせ先

総務部 飯島 電話 03-5422-6351 ijijima@japia.or.jp

IATF16949 コアツール研修会実施要領

1. コアツール研修会の概要

- (1) APQP（先行製品品質計画）、CP（コントロールプラン）、PPAP（生産部品承認プロセス）、FMEA（潜在的故障モード影響解析）、SPC（統計的工程管理）及び MSA（測定システム解析）について手法の概要と IATF16949 との関係について解説します。
- (2) IATF16949 を構築、運用する場合、規格要求事項及び顧客要求事項としてその使用を求められており、必須のツールとして導入する必要があり、研修会では運用方法の基本について演習を通じて修得します。
- (3) 各コアツールの概要
 - ① APQP（先行製品品質計画）
 - APQP は、製品品質計画とコントロールプランとで構成されています。製品品質計画とは新製品企画開発段階から生産着手までを5段階に分けて、各段階で検討する項目（インプット項目とアウトプット項目）について定めた指針です。IATF16949 及び PPAP と関連付けて理解しやすく解説します。
先行製品品質計画作成演習により、作成のポイントを理解していただきます。
 - ② CP（コントロールプラン）
 - CP は、部品とプロセスを管理するシステムを記述した品質計画書です。既に各企業では QC 工程図として導入されていますが、IATF16949 で要求する CP との共通点及び相違点について解説します。
 - ③ PPAP（生産部品承認プロセス）
 - PPAP は、サプライヤー（IATF16949 導入企業）が顧客の設計文書・仕様書に示された要求事項を正しく理解しているかを判定し、プロセスが必要な生産能力を持っているかどうかを判定するために、生産部品（生産材料・バルク部品）承認のための要求事項を規定したものです。
PSW 資料など PPAP 申請資料の作成演習を通じて、作成のポイントを理解して頂きます。
 - ④ FMEA（潜在的故障モード影響解析）
 - FMEA は、製品・プロセスの潜在的故障と影響を評価し、その発生の機会を低減

するための処置を決定するための活動を規定したものです。FMEA 作成演習により、作成のポイントを理解して頂きます。

⑤SPC (統計的工程管理)

- SPC は、要求事項を満たした製品を一貫して生産するために、工程を統計的手法を用いて管理する方法を規定したものです。統計的手法についても初心者でも理解できるようにご指導します。

SPC 演習では、統計ソフトを活用し、入力及び演算のための無駄な時間を少なくし、解析及び改善のための検討時間を多くし、現場での活用に役に立つような演習を致します。

⑥MSA (測定システム解析)

- MSA は、測定機器、測定要員、測定手法などから構成される測定システムの信頼性についての評価手法です。偏り、直線性、安定性、繰返し性及び再現性の5特性に関しての統計的解析・評価の実施について、計量値及び計数値の GR&R 演習を通して理解します。

MSA と同じように、統計ソフトを活用し、入力及び演算のための無駄な時間を少なくし、解析及び改善のための検討時間を多くし、現場での活用に役に立つような演習を致します。

2. 本講座の特長

- (1) コアツールを構築、運用するスタッフに対して手法の解説、演習を通じてわかりやすく解説します。
- (2) 簡易ソフトを使用していただき、統計的手法を優しくかつ実践的に理解していただきます。
- (3) コアツールの運用手順、仕組みを構築する必要があり、手順書事例及びビッグ3が提供するリファレンスマニュアルの参考資料をご紹介します。I A T F の推進者、管理者にとって有益な参考情報となります。
- (4) 演習、簡易統計ソフトの活用により、コアツールを作成する時間を短縮し、ツールの活用、解析を重視したプログラムで実践的に運用できるように配慮しています。
- (5) 6つのコアツール手法を2日間で修得できるように工夫しました。
 - ① A P Q P + C P + P P A P のコアツールを1日で履修でき、営業部門、購買部門の間接部門の方でも分割して1日研修でも履修可能としました。
 - ② F M E A + S P C + M S A のコアツールを分割して履修することが出来、技術部門、設計部門、製造部門、品質管理部門のような数値データを中心にしたコアツール運用部門のために、履修し易くしました。
 - ③ 1日単位で分割受講も出来ませんが、全てのコアツールを受講する人に対しては、2日連続又は別の機会に1日単位で受講することにより、選択肢を増やしました。

3. カリキュラム

◇1日単位で受講の場合

IATF16949/コアツール研修会 (APQP + CP + PPAP)コース/タイムスケジュール						
日	テーマ	No	内容	時間	テキスト	補助テキスト
1 日 目	オリエンテーション	0	1日目研修会の概要説明	9:30~9:45		
	コアツールとは	1	IATF16949コアツールの要点 (APQP/CP/PPAP)	9:45~10:30	IATF16949コアツールの要点	IATF16949:2016規格要求事項/ハンディ
	APQP&CP講義	2	APQP&CPの基本理解	10:30~12:00	APQP&CPマニュアル	APQP&CP/翻訳
			昼休憩	12:00~13:00		
	PPAP講義	3	PPAPの基本理解	13:00~14:00	PPAPマニュアル	PPAP/翻訳 PPAP/付属書/翻訳
	APQP演習	4	先行製品品質計画書作成ケーススタディ	14:00~15:00	APQPケーススタディ	先行製品品質計画書様式
	同上に係るGR発表会	5	同上に係るグループ発表	15:00~15:30		
	PPAP演習	6	PSW他関連資料作成ケーススタディ	15:30~16:15	PPAPケーススタディ	PSW様式
同上に係るGR発表会	7	同上に係るグループ発表	16:15~16:45			
総合Q&A	8	質疑応答	16:45~17:00			
IATF16949/コアツール研修会 (FMEA + SPC + MSA)コース/タイムスケジュール						
1 日 目	オリエンテーション	0	2日目研修会の概要説明	9:30~9:45		
	コアツールとは	1	IATF16949コアツールの要点 (FMEA/SPC/MSA)	9:45~10:30		
	FMEA講義	2	FMEAの基本理解	10:30~11:15	FMEAマニュアル	FMEA/翻訳
	FMEA演習	3	FMEA作成ケーススタディ	11:15~12:00	FMEAケーススタディ	FMEA様式
			昼休憩	12:00~13:00		
	同上に係るGR発表会	4	同上に係るグループ発表	13:00~13:30		
	SPC&MSA講義	5	SPC&MSAの基本理解	13:30~14:30	SPCマニュアル MSAマニュアル	SPC/翻訳 MSA/翻訳
		5	Stat Worksソフトのダウンロード	14:30~14:45		
	SPC演習	6	Stat Worksソフトによる \bar{X} bar-R管理図の作成	14:45~15:15	SPC&MSAケーススタディ	
		7	エクセルによる \bar{X} bar-R管理図の作成	15:15~15:30		
		8	Stat Worksソフトによる測定器の安定性評価	15:30~17:00	SPC&MSAケーススタディ	
		9	Stat Worksソフトによる測定器の繰り返し性評価			
		10	Stat Worksソフトによる測定器の偏り評価			
	11	Stat Worksソフトによる測定器の直線性評価				
MSA演習	12	Stat Worksソフトによる測定システムの総合評価	17:00~17:15			
総合Q&A	13	質疑応答	17:15~17:30			
FMEA+SPC+MSA研修/準備事項						
(1) 演習用テキストデータ(エクセル)の各PCへのインストール…別途メールで送付分						
(2) Stat Worksソフトのインストール(当面、演習用としては無料ソフトを下記手順によりダウンロードして使用) https://www.t-juse.co.jp/cgi-bin/suuri6/privacy/agree.cgi?PAGE=trial をインターネットでログイン(総合編プレミアムを選択)						
(3) 研修ではPCを使用するので2~3人に1台のPCを準備。(又は受講者毎に持参準備)						
(4) 電卓(関数電卓)を使用しますので2~3人に1台準備。(又は受講者毎に持参準備)						
(5) プロジェクターは2台必要ですが、無ければ1台でも対応可能。						

◇2日連続で受講の場合

IATF16949/コアツール研修会/(1+1日)コース/タイムスケジュール						
日	テーマ	No	内容	時間	テキスト	補助テキスト
1 日 目	オリエンテーション	0	1日目研修会の概要説明	9:30~9:45		
	コアツールとは	1	IATF16949コアツールの要点 (APQP/CP/PPAP)	9:45~10:30	IATF16949コアツールの要点	IATF16949:2016規格要求事項/ハンディ
	APQP&CP講義	2	APQP&CPの基本理解	10:30~12:00	APQP&CPマニュアル	APQP&CP/翻訳
			昼休憩	12:00~13:00		
	PPAP講義	3	PPAPの基本理解	13:00~14:00	PPAPマニュアル	PPAP/翻訳 PPAP/付属書/翻訳
	APQP演習	4	先行製品品質計画書作成ケーススタディ	14:00~15:00	APQPケーススタディ	先行製品品質計画書様式
	同上に係るGR発表会	5	同上に係るグループ発表	15:00~15:30		
	PPAP演習	6	PSW他関連資料作成ケーススタディ	15:30~16:15	PPAPケーススタディ	PSW様式
同上に係るGR発表会	7	同上に係るグループ発表	16:15~16:45			
総合Q&A	8	質疑応答	16:45~17:00			
2 日 目	オリエンテーション	0	2日目研修会の概要説明	9:30~9:45		
	コアツールとは	1	IATF16949コアツールの要点 (FMEA/SPC/MSA)	9:45~10:30		
	FMEA講義	2	FMEAの基本理解	10:30~11:15	FMEAマニュアル	FMEA/翻訳
	FMEA演習	3	FMEA作成ケーススタディ	11:15~12:00	FMEAケーススタディ	FMEA様式
			昼休憩	12:00~13:00		
	同上に係るGR発表会	4	同上に係るグループ発表	13:00~13:30		
	SPC&MSA講義	5	SPC&MSAの基本理解	13:30~14:30	SPCマニュアル MSAマニュアル	SPC/翻訳 MSA/翻訳
		5	Stat Worksソフトのダウンロード	14:30~14:45		
	SPC演習	6	Stat Worksソフトによる \bar{X} bar-R管理図の作成	14:45~15:15	SPC&MSAケーススタディ	
		7	エクセルによる \bar{X} bar-R管理図の作成	15:15~15:30		
		8	Stat Worksソフトによる測定器の安定性評価	15:30~17:00	SPC&MSAケーススタディ	
		9	Stat Worksソフトによる測定器の繰り返し性評価			
		10	Stat Worksソフトによる測定器の偏り評価			
	11	Stat Worksソフトによる測定器の直線性評価				
MSA演習	12	Stat Worksソフトによる測定システムの総合評価	17:00~17:15			
総合Q&A	13	質疑応答	17:15~17:30			
2日目研修/準備事項						
(1) 演習用テキストデータ(エクセル)の各PCへのインストール…別途メールで送付分						
(2) Stat Worksソフトのインストール(当面、演習用としては無料ソフトを下記手順によりダウンロードして使用) https://www.t-juse.co.jp/cgi-bin/suuri6/privacy/agree.cgi?PAGE=trial をインターネットでログイン(総合編プレミアムを選択)						
(3) 研修ではPCを使用するので2~3人に1台のPCを準備。(又は受講者毎に持参準備)						
(4) 電卓(関数電卓)を使用しますので2~3人に1台準備。(又は受講者毎に持参準備)						
(5) プロジェクターは2台必要ですが、無ければ1台でも対応可能。						

4. 対象者

- (1) IATF16949 導入に関心のある企業の管理者、推進者及びスタッフ
- (2) IATF16949 認証取得活動でコアツールの仕組みと実践が必要な企業の管理者、推進者及びスタッフ
- (3) 自動車部品や自動車関連機器メーカーの管理者及びスタッフ
- (4) 営業部門、購買部門などの間接部門はAPQP+CP+PPAPのコアツールだけを1日単位で受講できます。
- (5) 技術部門、設計部門、製造部門、品質管理部門などの数値データを中心にしたコアツールを扱う部門は、FMEA+SPC+MSAのコアツールだけを1日単位で受講できます。

講師プロフィール

草野喜義 (くさのきよし)



あどばる経営研究所／中小企業診断士 Office 所長として、中堅・中小企業の育成支援、ISO 認証取得支援、ISO 内部監査員養成研修、各種研修会・セミナー講師として幅広く活躍している。

ISO 認証取得コンサルティングは、ISO9001,ISO14001,ISO27001,ISO13485,ISO22000,ISO/TS16949,JISQ9100,OHSA S18001,JISQ15001 等約 320 社の取得支援実績があり、これらの全ての規格に対して内部監査員養成研修講座の主催を通じて約 12,000 人の内部監査員を養成している。現場の実践的改善手法（コストダウン手法、品質改善手法、ジャストインタイム手法、PM分析手法など）を通じて、実質的なコストダウン、生産性改善により顧客企業の経営課題の解決、改革・改善の成果を出すことは、コンサルティングの基本姿勢としており、『あどばるポリシー』で顧客企業を応援しています。

あどばる

*Additional Value（付加価値）は、あどばる経営研究所の心です…あどばるポリシー

■資格

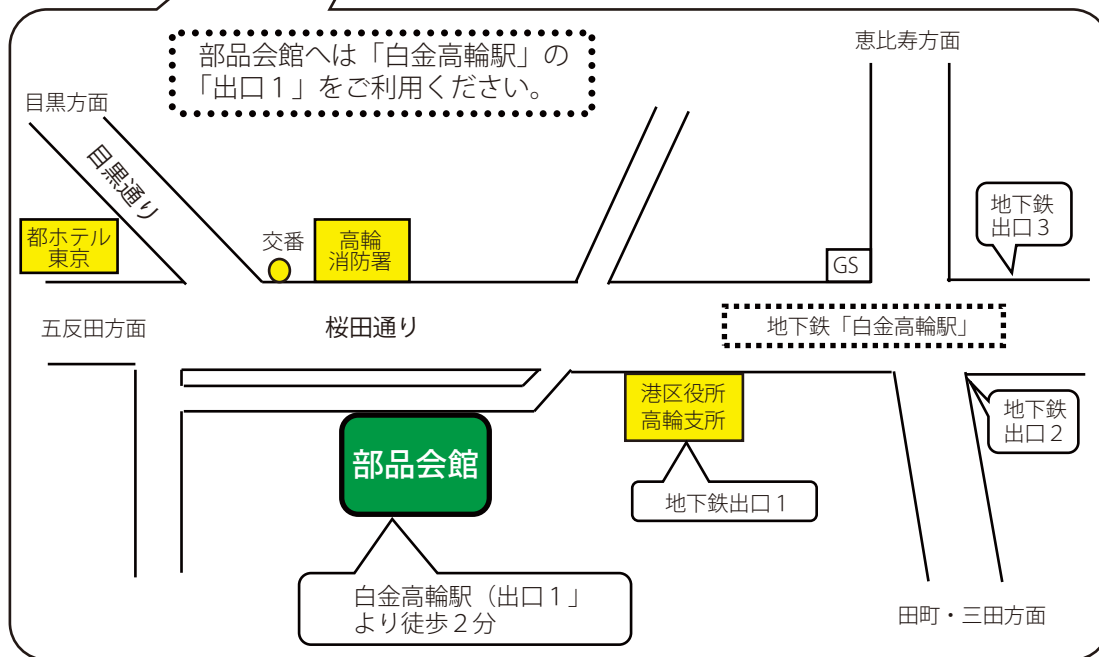
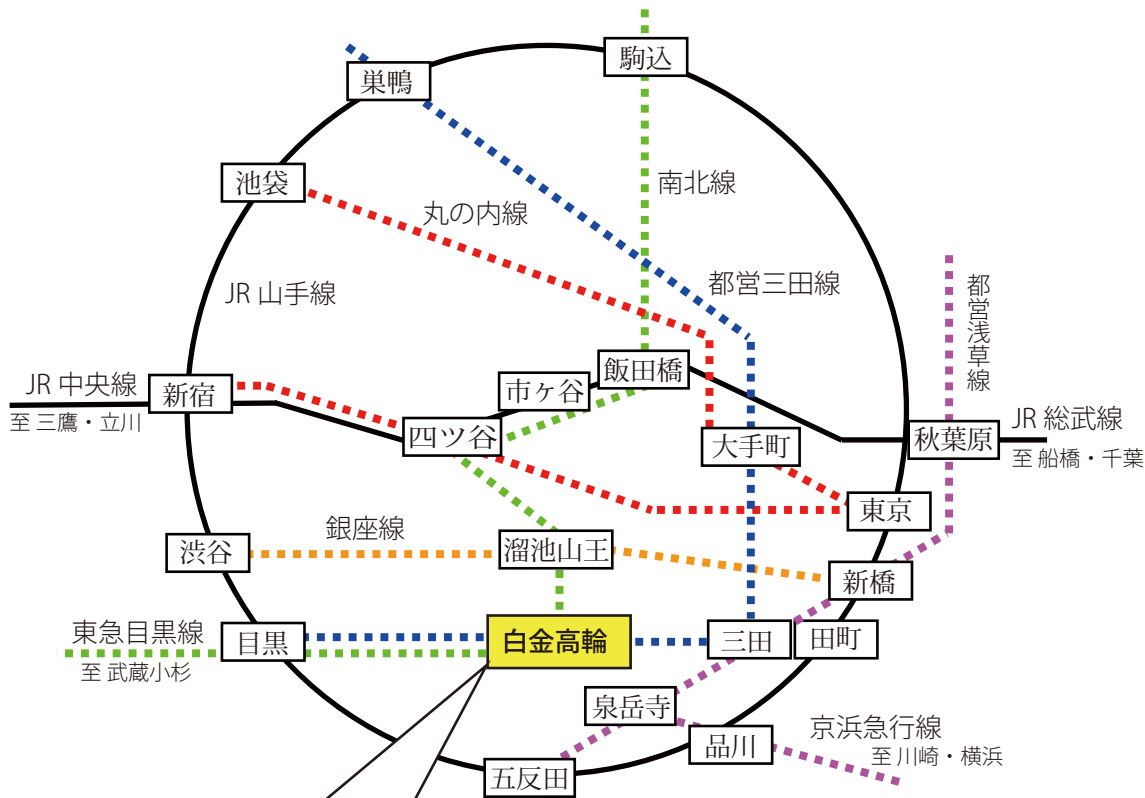
中小企業診断士 ISO9001&ISO14001 審査員 認定 SOX アドバイザー／上級内部統制管理士

■経歴

大阪大学溶接工学研究課程修士修了

(株) 自動車部品会館ご案内図

〒108-0074 東京都港区高輪 1-16-15 TEL 03-5422-6351



自動車部品会館 飯島宛 iijima@japia.or.jp 又は FAX 03-3447-5372

2020年10月15日(木)・16日(金)

「IATF16949 コアツール実践研修」申込書

申込日： 年 月 日

会社名：

〒
送り先住所：

TEL：

メールアドレス

所属・役職：

氏名：

よみ：

-
- どれか1つに 両日参加
レ点を入れる 10月15日(木)参加
10月16日(金)参加

(A)

※申込書受付票を送りますので必ずメールアドレスをご記入ください。